2016年4月27日

土木学会 熊本地震・広域交通ネットワーク調査団 調査報告(速報)・添付図表(2葉)

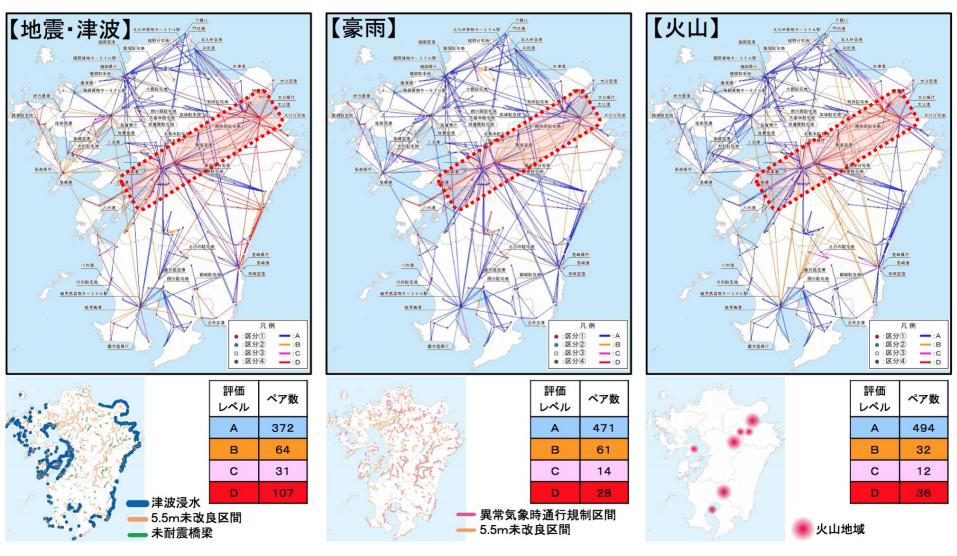
家田仁 (政策研究大学院大学、団長)

岩倉成志 (芝浦工業大学)

平田輝満 (茨城大学)

柳沼秀樹(東京理科大学)

添付図1 広域拠点ペアの接続性脆弱性評価の結果(2015年12月試算結果)



ランク	脆弱度	解釈
Α	0	災害時も平時と同じ期待所要時間
В	0より大~1/3未満	災害時は平時の1.5倍未満の期待所要時間
С	1/3以上~1未満	災害時は平時の1.5倍以上の期待所要時間
D	1	災害時には到達不可能

社会資本整備審議会 道路分科会第12回事業評価部会 (2015年12月21日実施)

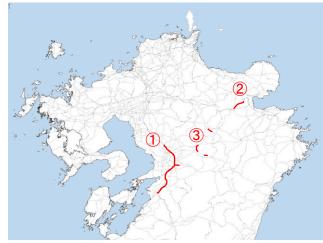
道路の防災機能評価手法(暫定案)の改定について(概要)

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/road01 sg 000269.html

添付図2 熊本地震によって生じた道路リンク遮断によって生じたODペア接続脆弱性の評価

広域的な拠点間の接続性評価 の試算結果

熊本地震 (2016年4/14, 4/16)



主な通行止め区間

- ① 九州道 (植木IC~八代IC)
- ② 大分道 (由布院IC~速水IC)
- ③ 国道57号、国道325号 (阿蘇大橋付近)
- ※2016年4月22日時点

